

瑞穂町安全安心まちづくり協議会

令和5年度第2回協議会 会議録

日 時：令和5年度11月27日(月) 18:30～

各団体の活動報告

福生警察署

■配布資料「犯罪発生状況(福生警察署)」

- ・瑞穂町内認知件数 増加傾向 一方で車上狙いは減少
- ・自転車盗難 駅、団地、マンションなどの集合駐輪場での被害が多い  
(少年犯罪に限るが、)自転車を盗んだ理由として、「友達と遊んでいて、場所を移動する足が無かったため、近くにあった自転車に乗った」など。

無施錠の自転車へ警告タグを付けて施錠を呼びかけている。

- ・サポート詐欺が増加。PC やスマホの画面に架空のウイルス感知警告画面などが表示され、表示されているサポートセンターに電話するよう促して来るもの。アラート音を伴うものもある。操作ができなくなってしまうものもあるようだが、端末を再起動または強制終了させれば通常通り操作可能。警告画面が表示された場合は、表示されているサポートセンターには連絡しないように。

サポート詐欺については、自分で何とかしようとしてしまうため、年齢関係なく被害が出ている。画面に表示されている架空のサポートセンターに電話する→サポートの手数料などと称して、振り込みやプリペイドカードによる入金を要求される→いわれるままに振り込みの手続きを行ってしまう。それ以外にも、偽のサイトを案内されて、個人情報やクレジットカード情報を入力するよう誘導→クレジットカードを不正に使用されるなどと言った手法も。

福生消防署

■配布資料「令和5年第2回 瑞穂町安全・安心まちづくり協議会」

※当日欠席、資料配布のみ

瑞穂町消防団

■配布資料「R5年度事業計画(11月時点)」「防犯だより第20号」

- ・活動状況は、配布資料事業計画書及び防犯だよりのとおり

町内会連合会

- ・夏休み中 防犯パトロールを実施 8/21～8/24 19:00-21:00
- ・パトロール結果については、特に異常なし。
- ・こどもフェスティバル参加
- ・冬休み中 防犯パトロールを予定

西多摩保護司会瑞穂分区

- ・前回会議以降報告事項は特になし

#### PTA 連合会

- ・こどもフェスティバル参加
- ・PTA バレーボール大会・・・コロナ禍前の活動を取り戻す流れ
- ・瑞穂中学校については、防災体験(泊)を実施。
- ・事前に準備などはしないで、連絡が入った時点で荷物をまとめる→集合 の流れで行った(事前に荷物の準備などしていない緊急時を想定)。終了後にアンケートを取ったところ、当日の限られた時間で荷物をまとめたため、一般的に想定しているもの(食料や衛生用品)以外の物資に不足があったとの参考になる意見も上がった。スマホを使わなかったり、テント内でいつもより親子の距離が近かったりして、親子の関係もよりよくなったように思う。

#### 商工会

- ・特になし

#### 瑞穂町

- ・空き家 H28 調査時点 206 件 R5 現在 5 件まで減少  
今年度も調査予定。その他管理が行われている空き家については、いたずら・犯罪に使われた情報なし、今後も引き続き注意し、担当課と情報を共有する。
- ・子どもへの虐待・ネグレクト R4 虐待の通知 138 件 そのうちネグレクトは 38 件  
町の認知の端緒としては、児童相談所、警察関係、学校、保育児童施設からの通知によるもの  
担当課において要保護児童実務者会議にて個別に対応している
- ・交通安全対策について 福生警察署管内交通死亡事故 0 で 1 年(8/25)  
瑞穂町 70 件人身事故 昨年比-13 件 10/31 現在
- ・防犯活動について 町内イベントにおいて防犯協会と連携して活動

#### 防犯協会

- ・委嘱式 9/29 (10/1 より新体制)
- ・偶数月 年金支給日特殊詐欺啓発活動
- ・8/19 サマーフェスティバルにて啓発活動
- ・8/23 野球大会(青少年健全育成)
- ・10/15 こどもフェスティバル 会場内警備
- ・10/11~10/20 全国地域安全週間

#### 各団体への質問・意見交換

- ・ジャンパーを着て、腕章を巻いている人が自宅に訪問してチラシを配っている。警察の制服でもなかったし、帽子も警察のものではなく野球帽のようなものだった。これは本物の警察官なのか？偽物であるのであれば、所

属団体に注意を呼び掛けるよう伝えるが。

→本物の警察官。現在、福生警察署の全職員で過去犯人グループから押収したリストに名前が載っているお宅に訪問している。訪問しているのは、制服の警察官だけでなく、私服の警察官もいるので、ジャンパーだったり、キャップだったりを身につけている場合がある。ただし、どのような服装だったとしても、訪問する警察官は、警察手帳を必ず携帯している。

・警察官の訪問について、かなり古い情報をもとに訪問されたという例もあるようだが。訪問した人はすでに亡くなっていて、対応した訪問者の息子もかなりの高齢だったとか。それ以外に、訪問された人が、訪問してきて警察官を名乗ったのに、警察手帳を見せてくれなかったと言っていたが。

→実際に犯人グループから押収したリストをもとに訪問しているのだから、かなり古い情報になってしまうことがある。犯人グループやそれらに名簿を売り付けている名簿屋などの持っている情報は更新されているはずだが、最新の情報を手に入れるのは困難であることから、押収したリストに載っている人を全て訪問する方針。警察手帳をしっかりと見せてくれなかった件については、改善するよう福生警察署全体で注意する。また、訪問されて手帳を見せられても不安に思うことがあると思う。その場合は、110番や福生警察署に連絡して確認できる。本当に福生警察署に所属している警察官であれば、追跡できるので居場所を特定できる。福生署の警察官が訪問した際、110番通報されたこともある。しかし、少しでも怪しいと思ったら通報してくれたほうが、見知らぬ訪問者などを警戒していることがわかる。

・全体の犯罪件数の減少の一方、その7割が少年犯罪。補導件数や少年犯罪の傾向はどのようになっているのか？また、子供同士の連絡の取り方や集まり方が変わってきていると思うが、どのような場所がたまり場になりやすいのか？

→補導件数について、延べ人数は増加傾向。ただし、延べ人数なので、同じ子供に複数回声をかけているものもカウントされている。警察官側が積極的に声をかけるような体制をとっていることも数字の増加の理由のため、一概に補導される子どもが増えたとは言えない。補導理由としては、深夜徘徊や喫煙が多い。

→万引きは減少。ただし、表に出ていない可能性がある。

万引きの理由については、自転車盗難と同様に動機が軽いような印象。足が無いからそこにある自転車を使う、のどが渇いたからコンビニのお茶を盗るなど。「意を決してやる」感じではない。

→闇バイトについては、①高額報酬につられて、メールやSNSを通じて始める→個人情報を渡してしまっているため、やめたいけどやめられなくなるパターンと、②先輩後輩の関係を利用して、先輩から強要されるパターンがある。先輩から強要されるパターンについても、先輩側に自分の個人情報や家族構成が割れているため、拒否した際に自分が殴られたり、家族にもけがをさせられたりする恐れがあり、拒否しきれない。また、自分がやりたくないからとさらに自分の後輩にやらせようとした事案もある。

→たまり場については、公園にたまっていることはかなりなくなってきた。防犯カメラの設置が進んできたことが要因と思われる。コンビニやファストフード店はまだいる印象。その他、ゲームセンターなどは溜まりやすい。前は連絡手段がなかったため、グループなどのよくいる場所がほぼ固定されていたが、現在はSNSですぐ連絡を取れるため、集合場所が固定されていない。以前は「〇〇さん(のグループ)に会いたければ、〇〇公園によくいるからいけば会えるよ」→現在は「(SNSで)このあと〇〇で集合」と連絡を取ってから集まる、その他居場

所を共有するアプリの利用で所在が分かるようなシステムになっているなどに変わっている。  
そのため、スマホを押収した際に、スマホがいつ手元に返って来るかを気にしている。

・PTAの会議でもたまり場についての意見が出た、薬局などでも溜まっているとのこと。実際に行ってみると、確かに端っこの方に数人中高生がたむろしていたこともある。

また、瑞穂町の「三角公園」で総勢40名ほどのタイマン(喧嘩)が計画されたと聞いた。これについては、警察が対応したと聞いているが、いざこざなどがあってから喧嘩に発展するまでが早いように思う。親が喧嘩を煽ったとのうわさもあるようだか。

→保護司のほうで見ていると、親にもいろいろな方がいる。両親ともそろっている子ももちろんいるが、片親の子も多い。また、子供の前に見放すような発言をする親もいれば、子供とかなり近い距離で一緒に悩んでいる親もいる、また親自身が精神的に悩んでしまっていることもある。ただ、多くの親は子供の更生に協力的である。喧嘩を扇動する親を持つ子供ばかりではない。

様々な事情を持っているので、わかったようなふりをして説教じみたことをしたり、寄り添えていると思ひ込んだりしないように気にかけている。

→ひと言で「多様性」と言ってしまうのも良くないかもしれないが、子供も親も性質が昔と違う上、関係性も様々な在り方があるように感じています。

・刺青を入れている子から、「刺青をなくしたい(消したい・消すまではいかなくとも隠したい)」と相談されることがある。そういった相談は警察でもされるのか？また、刺青を消せるところを教えてあげていたりするのか？

→刺青の除去について、とくに相談が入ることはない。

→刺青が入っていて消した経歴のある知り合いがいる。子供が刺青に興味を持ち、入れることを考えていたら、その人から消した理由などを話してもらい、デメリットがあることをわかってもらうようにしている。(子供とプールや温泉に行ったときに一緒に入れられないなど。) 簡単な気持ちで手を出さないように伝えたい。

・瑞穂町事業の青色防犯パトロールについて、安全・安心まちづくり基金を使っていると思うが、残高は減っていく、今後の方針はどのように運営していく予定なのか。

→今年度は、昨年度より巡回時間・実施日を縮小している。今後は、徐々にパトロール事業を縮小し、防犯カメラの方にシフトしていく予定。パトロールの継続は難しいのが現状。

→防犯の観点の事業などについては、数字で目に見える結果などが出来ないものではあるが、継続して行っていくことが住民からの信頼につながると思う。

→住民からの視点で見ると、カメラももちろんいいと思うが、パトロールを行っていることは長年の実施により周知されているし、やっていること(パトロールしていること)自体は目に見えているからわかりやすいものだと思う。

→カタクリの郷や狭山池公園などで、夜に東屋などにいる子どもたちに近寄って行って帰宅を促す声掛けをしているところをよく見かける。

・パトロール事業からシフトする予定の防犯カメラについて、町からカメラ設置についての補助などはあるのか？

→そういった事業はない。(瑞穂町回答)

→町でつけているカメラの設置基準などはあるのか。

→現在、町に設置してあるカメラで、安全・安心課が所管しているものは、過去に教育委員会の方で通学路用として設置したものを引き継いでいます。(瑞穂町回答)

→過去に車上荒らしにあったため、防犯カメラを設置しようとしたのだが、住宅地など家が密集していると、「うちを盗撮している」と苦情が入ることがあると業者に言われた。道路の方を広く映すと、カメラに別のお宅が入り込みやすい(または映っているように見える)ため、実際には映っていなかったとしても苦情・トラブルになりやすい。

お店や個人宅でもあったほうが防犯上は良いかもしれないが、特に住宅地などで家が密集している区画の個人宅などでは、近所トラブルにつながる恐れもあるため、一概につけたほうが良いとは言えない。つける際は、周囲への十分な周知と理解が必須。

→個人で設置すると苦情が発生する懸念があるため、やはり町で要所に設置してくれた方が、苦情も少なく済むし良いと思う。